

過疎地域における幼児教育経験者比率

- 小学校就学前に幼稚園又は保育所(へき地保育所含む)を経験した比率を見ると、1970年頃は過疎地域と全国とで大きな格差があったが、近年はほぼ格差がなくなっている。
- 過疎地域においては、全国と比べ、幼稚園就園率が低く、保育所在籍比率が高い。

図表21 幼児教育経験者比率

| 区分 | 昭和45年度 | | 昭和55年度 | | 平成2年度 | | 平成7年度 | | 平成14年度 | | 平成18年度 | |
|-----------|--------|------|--------|------|-------|------|-------|------|--------|------|--------|------|
| | 過疎 | 全国 | 過疎 | 全国 | 過疎 | 全国 | 過疎 | 全国 | 過疎 | 全国 | 過疎 | 全国 |
| 幼児教育経験者比率 | 57.4 | 76.1 | 87.6 | 91.2 | 95.0 | 95.6 | 95.5 | 95.0 | 98.3 | 96.7 | 97.1 | 96.5 |
| 幼稚園就園率 | 18.3 | 53.8 | 35.4 | 64.4 | 34.9 | 64.0 | 34.2 | 62.8 | 34.9 | 59.9 | 36.1 | 57.7 |
| 保育所在籍率 | 39.1 | 22.4 | 52.2 | 26.8 | 60.1 | 31.5 | 61.3 | 32.2 | 63.4 | 36.8 | 61.0 | 38.8 |

(備考) 1 全国は文部科学省「学校基本調査」及び「社会福祉施設等調査」による。
2 過疎地域は総務省調べ。

※備考

<幼児教育経験者比率>

①全国は、各年度の文部科学省「学校基本調査」(数値は各年度5月1日)及び前年度の厚生労働省「社会福祉施設調査」による。

②過疎地域は総務省調べ。

③それぞれの数値は、次の算式による、なお、保育所にはへき地保育所を含む。

幼児教育経験者比率 = 幼稚園就園率 + 保育所在籍率

$$\text{幼稚園就園率} = \frac{\text{幼稚園修了者数}}{\text{小学校第1学年児童数}}$$

$$\text{保育所在籍率} = \frac{\text{前年度保育所在所児数(5歳/2+6歳)}}{\text{小学校第1学年児童数}}$$

【出典:総務省『「過疎対策の現況」について』(平成20年9月)】

【出典:総務省「時代に対応した新たな過疎対策に向けて(これまでの議論の中間的整理)(平成20年4月)】